公民科（公共） 授業案	日　時　令和４年１１月１４日（月）　　生　徒　１年３組（在籍３０名） 授業場　多目的教室　授業者　樋口知久

１　単元名

第２編　自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち

第２章　政治的な主体となる私たち　主題４　政治参加と公正な世論の形成（１選挙の意義と課題）

２　指導観・単元観・生徒観

どの時代においても、生徒に生きる力を涵養することが授業の原理的な目標である。今後は急激な社会の変化にともない、物事を多面的多角的な視野に立って主体的に考察して論拠を持って表現し、多様な人たちと合意形成を図る能力が必要とされる。

第１編「公共の扉」においては、様々な思想に触れることで、同世代間、時代間において思想・意見の相違があり、その中でどのように合意形成を図るのかを理解・考察した。本編においては、知識を確認し現代的な諸課題を題材に知識をもとに調査・考察したうえで合意形成を図って表現していく活動が必要となる。この成果に立って未来を考察・展望する活動が求められる。

本校の生徒は郡部に所在しながらも、高校卒業後は学区域に居を構える生徒の割合が比較的高い。それゆえ、地域理解を深化することで、今後の地域を支える人材として公民的資質を醸成する必要がある。暗記中心の授業理解から、多様な考え方の存在を知って尊重し、論拠を持って表現するスキルの定着が必要である。

３　単元の目標

(1) 政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。

(2) 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。

(3) 主として政治に関わる事項について、法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。

(4) 現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。

４　評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・主として政治に関わる事項について、法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

５　単元計画（全 12 時間）○‥「評定に用いる評価」、●･･･「学習改善につながる評価」）

時	○学習活動　　・学習内容 □…今日のテーマ（課題）	□手立て　△評価規準 目標達成のための支援	評価の観点		
			知	思	態
	【単元を貫く問い】幸せな日本を創るため、政治にどのように関わるべきか。				
1	・単元を貫く問いを立てる。 地方自治の原則とは ○地方自治の本旨と組織・運営について理解する。	□プリント作業にて憲法等を確認して学び合う。 △教科書の基礎的知識を理解できたかどうか。	○		●
2	深川市の現状は日本全体と比較してどのようになっているのか ○深川市の現状をＰＣ端末にて調査して３，４時の準備をする。	□現状をＰＣで調査して、深川市への質問をまとめる。 △深川市の現状を複数の視野から考え、問題点や改善点を表現できたか。		●	
3	深川市の現状はどのようになっているのか ○深川市長の講話を聞き北空知の地方自治の現状を理解する。	□講話を通じて、深川市の現状と今後の計画を知る。 △前時の成果を基にして自分の理解を深めることが出来たか。	○		
4	今後の北空知をどのように創造するべきか ○深川市役所の方々からアドバイスをいただきながら、より良い深川を計画する。	□深川市役所の方々からのアドバイスと生徒同士の意見交流を行う。 △地域に生きる若者として主体的に物事を考えて計画・提案できたか。		○	●
5	国会はどのような立場なのか ○　国会の地位、構成、権限を理解する。	□プリント作業にて憲法等を確認して学び合う。 △教科書の基礎的知識を理解できたかどうか。	○		
6	未来を明るくする国会運営とは ○国会の現状と活性化策を知り、自分なりの改善策を表現する。	□国会改革の実際を確認しながら、他国の事例・状況と比較していく。 △日本と外国を比較しながら未来を生きる若者としての意見を表現できたか。		●	
7	国会と内閣はどのような関係なのか	□プリント作業にて憲法等	○		

	○国会と内閣の関係、内閣総理大臣の権限を理解する。	を確認して学び合う。 △教科書の基礎的知識を理解できたかどうか。			
8	未来を明るくする行政機能とは ○行政機能の現状を知り、自分なりの改善策を表現する。	□行政改革の現状を探りながら、ＮＰＯの活動を参照して国民の行政への参画を考える。 △自分はどのように行政参加して、明るい未来に貢献するのかを自分なりに表現できるかどうか。		○	●
9	日本の選挙制度はどうなっているのか ○日本の選挙制度について理解する。	□プリント作業にて選挙制度を確認して学び合う。 △教科書の基礎的知識を理解できたかどうか。	○	●	
１０ 本 時	日本の未来を明るくする選挙の姿とは ○ロールプレイとジグソー的活動で、選挙を通じた政治参加の必要性を理解する。	□ロールプレイを通じて、世論の世代間格差の状況を知る。 △少子高齢化を念頭に置きながら、自分事として深く選挙活動を捉えることが出来たか。	●	○	
１１	どのようにして世論が形成されるのか ○マスメディアとＳＮＳ等の影響を理解し、主体的に良識ある公正な判断力を身につけようとするきっかけを作る。	□実際の世論形成を用いて、メディアの影響を把握する。 △メディアの影響の大きさを確認しながら、どのように正確な世論を捉えることが大事なのかを表現できているかどうか。	○		○

６　授業について

（１）本時の目標

・この地域の実情について、立候補者・60 代投票者、20 代投票者の選挙行動をロールプレイすることで、投票行動の実際を理解して自己の政治参加の方向性を考察する。【思考・判断・表現】

（２）本時案（１０/１１時間目）

過程	学習活動　生徒の姿 教師の働きかけ（○発問　△補助発問　□指示・説明）・手立て	【評価の観点】 ◇評価の内容・指導上の留意点
導入 10分	**１　課題確認** **□google form にて前時の知識の確認をする。** **【本日の問い】日本の未来を明るくするために我々は政治にどのように関われば良いだろうか。** ○本日の問いに関する自分の問い（仮説）を表現させる。	◇正答率の低い内容は短時間で説明を加える。 ◇知識の結果は評価に含めず、自ら知識の定着を確認する機会とする。
展開 30分	**２　ジグソー的ロールプレイ** □事前に決定している役割ごとに３～５名程度のグループを作って座席を移動する。 設定グループ 被選挙人政党:3～4 人程度のグループを４グループ 有権者：60 代有権者：12 名、20 代有権者：6 名 **□グループごとの指示をスライドに投影する。（作業 20 分）** （20 分後の発表学習内容） 政党：議席をより多く確保するための公約を立ててスライド 1 枚にまとめて、1 分 30 秒間演説してください。 60 代有権者：60 代は政治に何を求めているのかを調べて「60 代にとって大切なこと、幸せなこと」をまとめて、60 代の投票行動を演じてください。 20 代有権者：20 代は政治に何を求めているのかを調べて、「20 代にとって大切なこと、幸せなこと」をまとめて、20 代の投票行動を演じてください。 **○「各政党は 1 分 30 秒で演説してください。」** 公約を google slide で投影しながら発表する。 **○「有権者は投票してください。」** 投票状況をスプレッドシートで投影する。 議席数をドント式で割り振って発表をする。	手立て ・被選挙人はどのような戦略で得票を伸ばすのかを考える。60 代と 20 代がどのように考えているのか、どの世代にターゲットを絞るのか話し合い政策立案を促す。 ・有権者は 60 代と 20 代がそれぞれどのような政治的要望を持っているのかを多面的に調べて、より実際に近い投票活動を出来るように促す。 ◇観察 思考が深まらない時は、自主的な思考の幅を狭めないように配慮しながら、良いグループの例を見せたり、声かけを行う。 ◇発表者、スライドとシナリオを作るなど、担当に分かれて行う。 ◇投票はあくまで 60 代と 20 代の意見で投票するように指示する。

終末 10分	**3　まとめ** ○　プリントにこの授業で考えたこと、新たな発見、自らどのように行動するかの決意を記入する。	◇決意の内容については評価に含めない。 ◇合意形成や社会参画を視野に入れながら、主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【思考・判断・表現】

右のQRコードまたはクラスルームから「選挙制度の確認」を読み取って、前回の確認をしてください。

公共授業スライド

メインクエスチョン

日本の未来を明るくする選挙の姿とは？

サブクエスチョン

①日本はどのような選挙制度なのか？

②日本の未来を明るくするために我々は政治にどのように関われば良いだろうか？（選挙ロールプレイを通じて考える）

③どのようにして世論が形成されるのか？

本日の流れ

前回の確認
google formで
確認

→

（立候補者）政策立案
（有権者）投票行動調査
PCなどを活用して調査

→

選挙活動
立候補者が
有権者を調査

→

修正
調査を経て
政策を修正

→

投票
有権者投票
と開票

→

本時の
ふり返り

約20分後の発表学習内容

政党：議席をより多く確保するための公約を立ててスライド1枚にまとめて、1分間演説してください。

60代有権者：60代は政治に何を求めているのかを調べて「60代にとって大切なこと、幸せなこと」をまとめて、60代の投票行動を演じてください。

20代有権者：20代は政治に何を求めているのかを調べて、「20代にとって大切なこと、幸せなこと」をまとめて、20代の投票行動を演じてください。

（立候補者）政策立案　（有権者）年代別投票行動調査 （15分）

（立候補者）演説は1分

・プロフィールを読み、ネットなどで調査してどのような政策を提案すると当選出来るのかを考えて、政策を立案する。

・「当選するためには」と言うことをよく考えて政策を立てること。

・「自分の考え」ではなく「立候補者」の立場になって考えること。

（６０代、２０代有権者）

・各世代が政治にどのような要求があるのか、どのような補助が欲しいのか等を考えて投票行動を出来るようにすること。

・「自分の考え」ではなく「60代・20代の有権者」の立場になって考えること。

選挙活動（３分）

（立候補者）

・有権者に自分たちの政策を説明する。

・有権者から要望などを聞き取る。

（有権者）

・立候補者の意見を聞き取る。

・各立候補者の政策を比較する。

修正（5分）

（立候補者）

・選挙活動をしてみて、政策を修正する

・演説の準備（スライド作成と投影をチェックする）

・演説者と演説サポーターを決定する

（有権者）

・各立候補者の主張を比較・整理する

・誰に投票するかを根拠を持って説明できるようしておく

発表活動（政党ごとに1分）

（立候補者）

Aから順番に1分で演説

（有権者）

演説を聞き、どこに投票するかを決定する。

あくまでその年代の投票活動を演じること。

投票

（有権者20代、60代）

①スプレッドシートを開く

②渡した番号のセルに「Ａ～Ｄ」を入力して投票をする。

③開票

　得票数が同じならどうする？

ふりかえりシート記入（10分）

「あなたの立場」の記入を忘れずに

プリントの「4　選挙のロールプレイ」を記入する

4　選挙のロールプレイ

（1）この活動で理解したことを記入（あなたの立場：　　）

（2）他者との関わりで感じた発見、意見をまとめる上で考えたことを記入

（3）この活動をすることで生まれた新たな発見と疑問点を記入

（発見）

（疑問点）

（4）この活動を通じて生まれた、政治とどのように関わるかの決意を記入

公共授業プリント　１１

組　　番　氏名

＊このプリントの最初に記入する。

①このプリントのメインクエスチョンを下に書く。

②プリント穴埋め作業の中や中学の記憶で疑問に思ったことを書く。

③このプリントにおけるあなたの問いを下に書く。

＊このプリントの最後に記入する。

④ このプリントのアウトライン（あらすじ）を下の形式でまとめる。	
・（一つの文）	ここは③を短くして記入
・（接続詞を1つ入れる）	しかし、だから、また、さらに、一方では、例えば、なぜなら、などの接続詞を記入
・（一つの文）	授業を受けた結果の新しい見解などを記入

⑤ ③に対する新たな発見と授業後の新しい見解などをより深く、詳しく書いてください。

⑥ その他気づいたことを自由（書くか書かないか自由ではなく、内容を自由にということ）に記入してください。

（評価）問い→まとめは下の基準に合わせて評価をします。

A	B	C	プリント評価
空白がきわめて少なく細かく書かれており、また、自己の深い部分で考えがまとまっている。	多少空白があるがまとめられている。また、自己の考えがしっかりと書かれている。	空欄が多く、自己の考えが薄いか書かれていない。	

１　さまざまな選挙制度

（１）選挙の原則

①昔の選挙：(1　　)・・・身分、財産、性別等で選挙権を制限

（なぜ制限されていたか？）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

②選挙の原則

・(2　　)・・・一定の年齢に達した国民に選挙権を認める

・(3　　)・・・有権者自ら議員や首長を選挙する

・(4　　)・・・投票の価値に差をもうけない

・(5　　)・・・投票の自由を保障する

③選挙制度の種類（教科書Ｐ 94 の 19 行目からＰ 95 の 6 行目までを表にまとめる）

	長　所	短　所
大選挙区制		
小選挙区制		
比例代表制		

２　日本の選挙制度

（１）衆議院・・・(6　　)

・比例代表では順位の高い順に当選する（7　　）を採用

・小選挙区との（8　　）も導入

（２）参議院・・・(9　　）単位の選挙区選挙と比例代表制

・比例代表では全国１選挙区の（10　　）を採用

そのため、有名人が当選しやすい。当選した有名人：＿＿＿＿＿＿＿＿

・比例代表は（10　　）で議席配分

（ドント式の例）比例代表制 定数６人の選挙区の場合

	Ａ　党	Ｂ　党	Ｃ　党
候補者数	８人	６人	３人
得票率	２４０票	１５０票	９０票

当選者：Ａ党（　　）人

Ｂ党（　　）人

Ｃ党（　　）人

３　政党政治・・・多くの国家が基本としている

・(11　　)：政権を担当している政党、(12　　)：政権獲得を目指す政党

・政党政治の種類

二大政党制：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

多党制：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

一党制：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

・圧力団体の存在：汚職の場合が出るので、(14　　）で管理

４　選挙のロールプレイ

（１）この活動で理解したことを記入（あなたの立場：　　）

（２）他者との関わりで感じた発見、意見をまとめる上で考えたことを記入

（３）この活動をすることで生まれた新たな発見と疑問点を記入

（発見）

（疑問点）

（４）この活動を通じて生まれた、政治とどのように関わるかの決意を記入

５　選挙の課題

（１）選挙の課題

（11　　）・・・選挙区ごとに有権者が異なるために発生、法の下の平等に反する。近年の国政選挙はほぼ「違憲状態」

汚職の問題・・・金権政治や腐敗選挙の問題

（12　　）によって（13　　）を規定

選挙権の問題・・・在日外国人の選挙権問題

投票率の低下・・・政治的無関心や特定の政党や候補者がいない（14　　）の存在。選挙に参加する一部の意見で政策決定？

投票率向上を目的に投票時間延長や（15　　）の実施

（２）メディアの影響

・(16　　）の危険性・・・マスメディアやＳＮＳの影響

（17　　）を身につけることが求められる。

・動向を調査で（18　　）を実施・・・アナウンスメント効果の影響

（全体評価）プリントは下の基準に合わせて評価をします。

A	B	C	プリント評価
空欄と文章が不足なく記述されている。また、かつ授業中に自分が感じた内容が余白に記述されているおり、自主性が見える	空欄と文章が不足なく記述されている。ただし、内容は写すのみに終始しているなど自主性にやや欠ける。	空欄と文章がすべて記入されておらず（提出までに不足を相談することなく）、授業に対する基本的規律に欠ける。	

選挙制度の確認

*必須

1。 選挙の原則のうち，一定の年齢に達した国民に選挙権を認めるものを何というか * 1ポイント

1つだけマークしてください。

- 普通選挙
- 平等選挙
- 直接選挙
- 秘密選挙

2。 政権を担当する政党を何というか * 1ポイント

1つだけマークしてください。

- 吏党
- 野党
- 与党
- 民党

3。 比例代表制の議席配分の方法として採用されている方式を何というか * 1ポイント

1つだけマークしてください。

- ブロック方式
- ドント方式
- ブット方式
- 拘束名簿方式

4。 小選挙区の立候補者が同時に比例代表にも立候補できるしくみを何というか 1ポイント

1 つだけマークしてください。

- 平等選挙制
- 同時立候補制
- 重複立候補制
- 非拘束名簿方式

5。 参議院議員の選挙制度で採用されている比例代表制のしくみを何というか * 1ポイント

1 つだけマークしてください。

- 拘束名簿方式比例代表制
- 代表名簿方式比例代表制
- 非拘束名簿方式比例代表制
- 小選挙区比例代表並立制

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

立候補者のプロフィールと役割

（あなたのプロフィール）

この地域で生まれて以降この地で育ち、この地域の公務員として就職した。やがて、より多くの人たちの意見を取り入れた政治を行いたいと思うようになっていった。そして、選挙へ立候補するように依頼を受けた。自分にそのような大きな仕事は大丈夫かなとは思ったが、郷土への思いは強く立候補することにした。

（この活動で演じる役割）

①政策立案

・有権者が政治に何を求めているのかを調査・想像してまとめる。

・この地域を明るくしたいと考えている政治家がどのように考えているかを想像する。

（調査）

・ＰＣを利用

（参考になるサイト）

深川市まちづくりアンケート調査結果報告書

妹背牛町まちづくりアンケート

第１回 北竜町創生総合戦略ワークショップ（資料３、４）

沼田町総合戦略（参考資料）

秩父別町まちづくりに関する町民アンケート調査結果

市長や市町議員のＨＰ

②選挙活動

①の調査内容をもとに、選挙活動で有権者に政策を訴えたり、意見を聞き取る。

③修正

②で得た情報をもとに政策の修正を行う。

④発表活動

公約を作ってスライドにまとめて１分で訴える。

60代の投票者のプロフィールと役割

６０歳代のプロフィール（参考）

定年は過ぎたが年金だけでは生活できないので、平日も仕事をしている。仕事はしているが、体力的につらくなってきている。また、年を取ってきたせいか、月に数回通院しなければならない。まだ自動車を運転すれば問題ないが、高齢者の交通事故のニュースを耳にするたびに他人事ではなくなってきている。公共交通機関を利用したいが平日の仕事との関係を考えると不便であるし、本数も少ないので移動は負担がかかる。

（この活動で演じる役割）

①政策立案

上のプロフィールの人物を含めたこの地域の６０歳代が政治に何を求めているのかを調査・想像してまとめる。

（調査）

・ＰＣを利用

（参考になるサイト）

深川市まちづくりアンケート調査結果報告書
妹背牛町まちづくりアンケート
第１回 北竜町創生総合戦略ワークショップ（資料３、４）
沼田町総合戦略（参考資料）
秩父別町まちづくりに関する町民アンケート調査結果

②選挙活動

①の調査内容をもとにして、選挙活動で立候補者の話を聞いたり、６０歳代の意見を訴えたりする。

③修正

②で得た情報をもとに、誰に投票するかを根拠を持って投票できるようにする。

④発表活動

最後に演説を聞いて投票をする。

（この地域の６０代にとって大切なこと、幸せなこと） 提出不要、自分たちのまとめを記入してください。

20代の投票者のプロフィールと役割

（２０歳代のプロフィール）

高校を卒業してそれなりに年数が経ち、仕事も順調にこなしている。ここでの生活には大きな不満はない。しかし、職業人としてもっといろいろな仕事をしたいと考えたり、札幌で生活している友人から大型店舗やファストフード店が近いことなどを聞くとちょっとあこがれたりもする。また、今後結婚して出産することになると小児科や産婦人科などの医療の問題も大きい。

（この活動で演じる役割）

①政策立案

上のプロフィールの人物を含めた２０歳代が政治に何を求めているのかを調査・想像してまとめる。

（調査）

・ＰＣを利用

（参考になるサイト）

深川市まちづくりアンケート調査結果報告書
妹背牛町まちづくりアンケート
第１回 北竜町創生総合戦略ワークショップ（資料３、４）
沼田町総合戦略（参考資料）
秩父別町まちづくりに関する町民アンケート調査結果

②選挙活動

①の調査内容をもとにして、選挙活動で立候補者の話を聞いたり、２０歳代の意見を訴えたりする。

③修正

②で得た情報をもとに、誰に投票するかを根拠を持って投票できるようにする。

④発表活動

最後に演説を聞いて投票をする。

（この地域の２０代にとって大切なこと、幸せなこと） 提出不要、自分たちのまとめを記入してください。

被選挙人作成用　スライド

看板政策や
スローガンを記入
グループメンバーを記入

具体的な政策を記入

北空知選挙区（議席数3）

投票1	
投票2	
投票3	
投票4	
投票5	
投票6	
投票7	
投票8	
投票9	
投票10	
投票11	
投票12	
投票13	
投票14	
投票15	
投票16	
投票17	
投票18	

	得票数	得票÷1	得票÷2	得票÷3
政党A	0	0	0	0
政党B	0	0	0	0
政党C	0	0	0	0
政党D	0	0	0	0